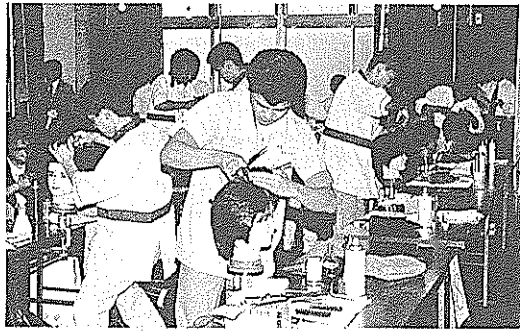


三十周年を記念して

南国市で県理容競技大会

五部門五十人が参加



真剣に競技に取り組む選手

選手は、ベーシックアイアイニングなど五部門に分かれ、真剣な表情で競技に取り組んでいました。

第四十一回高知県理容競技大会が、市制施行三十周年記念事業の一環として五月二十二日に浜すし会館で開かれ、県下各地から約五十人が参加して目ごろ腕を競いました。

これは、県内の理容水準を高める目的で、県理容環境衛生同業組合などが主催して開いているものですが、高知市以外で行われたのは今回が初めて。

火鎮祭 ちびっこ力士 土俵で熱戦



ハツケヨイ

れる熱戦に、会場につめかけた家族らから盛んな声援が送られていました。

恒例の火鎮祭が、五月十四日に市民体育館相撲場で開かれ、第十九回県下中学校春季相撲選手権大会、第十三回県下消防署(団)対抗相撲大会、第八回わんぱく相撲大会が行われました。

これは、県中学校体育連盟、市消防本部、市教育委員会など主催で毎年開かれているもので、今年も土俵上で繰り広げら

県下中学校春季相撲選手権大会は、安芸中が団体優勝、清水中の平田泰三選手が個人優勝、県下消防署(団)対抗相撲大会は、芸西Aが団体優勝、南国Bの岡田直人選手が個人優勝を果たしました。

わんぱく相撲大会の結果は次のとおりです。

- 団体の部
 - 優勝―稲生A ▼準優勝―稲生B ▼三位―大篠B
- 個人の部
 - 四年生の部
 - 優勝―恒石敏宏(大篠F) ▼

空港施設を初めて公開

日章小の五年生が

管制塔などを見学



管制塔を見学する子供たち

高知空港施設が初めて一般公開され、五月二十二日に日章小学校(西森善郎校長、三百三十二人)の五年生六十人が、管制塔などを見学しました。

これは、運輸省が「開かれた官庁」を目指して本年度から設けた「運輸広報月間」(四月一日―三十日)の行事の一環として四月から六月にかけて行っている全国の主な空港施設や巡視船、研究所などの公開によって行われたものです。公開に先立ち、見学者を高知空港が公募、一回目の今年は空港に近い日章小が選ばれました。

この日、空港事務所を訪れた児童は、まず会議室で係員から高知空港の概要などの説明を聞き、「離陸のスピードは」「ジェット機の飛ぶ高さは」など、次々と質問していました。

この後、レーダーや管制塔などを見学、レーダーや飛行機と管制官のやり取りなどを目を輝かせて見学していました。